

## 令和2年度第2回徳山高等学校学校運営協議会〔本校全日制部会〕 記録

I 日 時 令和2年10月28日(水) 午後3時から午後5時10分まで

II 場 所 徳山高等学校会議室

### III 参加学校運営協議会委員

本校全日制部会委員5名中5名が参加。

### IV 学校参加者

校長、副校長、CS活動推進員

本校全日制：教頭、分掌課長等7名、CS担当、生徒(生徒会執行部役員)7名

### V 会議概要(進行は副校長)

#### 1 報告・協議

(1) 令和2年度学校評価・授業評価の中間報告について

・全日制の学習・進路・生徒指導の取組について説明。

(2) 本年度の地域連携の取組について

・マスクの着用や三密を避けるなど感染症対策を取りながら、魁講座・自転車盗難防止活動・生徒会企画開催・ボランティア活動など進めてきており、通常の活動ができ始めていること等を報告。

(3) 取組についての意見交換

委員：様々な行事が中止となっているが、3月のSSH発表会は予定通り実施されるのか。

学校：実施予定である。

委員：二大行事に代わる生徒企画について、生徒たちが考え、校長先生にプレゼンして仕上げた内容で、アマビエの竹灯籠など良かった。先生方によく協力していただいた。初めてのことで戸惑いがあったが、メモリアルコンサートのネット配信など、保護者からの反響もよく、今後に生かしていけるのではないかと。

学校：運動会と徳高祭について、来年度はこれまで通りになると思う。その中で今年度のような企画もできるかもしれない。

委員：ネット配信などはやった方が生徒の成長に繋がるのではないかと。行事についてみんなで一生懸命考えるのはとても良いことだ。

委員：大学生の採用面接などをオンラインで行ってみて、情報は伝わるが感情は伝わりにくいと感じている。面接を受ける子は、ただ言葉にするだけでなく、身振り手振りなど非言語コミュニケーションを取り入れると分かりやすい。トレーニングなど行うことを奨める。

委員：来年度中に1人に1台タブレット端末という予定なのか。

学校：今年度末までに導入される。

委員：中学校でも、活用する教師サイドの技術的な準備等が間に合わない状況。若い世代が積極的に活躍して欲しいと思っているが、どういう形で進めていくのか教えてほしい。

学校：徳山高校では各教科からメンバーを集め、SSHで導入したiPad40台を使って、どう活用したら授業ができるか授業研究を行っている。

委員：黒板からICTを活用した授業に変わると何が大きく違うのか。

学校：教科書の英文など全文を提示したり、理科でも実験の様子を映像で映せたりするなどわかりやすく示すことができ、非常に効果が高いと考えている。

委員：先進的な取り組みを周りの中学校にも広めていっていただきたい。

委員：交通安全活動は自転車中心に行っているのか。また、自転車通学はどのくらいあるのか。

学校：自宅から学校・自宅から駅までを考えると6割。

委員：交通安全指導の内容は、どういったものなのか。

学校：交通法規・安全運転など。

委員：自転車が加害者になることが増えてきている。多くの大学・高校が自転車保険加入など行っている。本校では、どうなのか。

学校：学校としてはいくつか紹介し、加入を勧めている。今年に入っても加害者になった者もいる。自転車交通安全教室でも取り上げた。

委員：自転車の盗難や校内に放置自転車はあるのか。

学校：校内での盗難はない。卒業した生徒の放置自転車は多くあったが、昨年処分したので今はない。

## 2 グループ別協議

### (1) テーマ説明 〈徳山高校の「文武両道」の在り方〉

- ・徳山高校における「文武両道」とはどのような姿が望ましいのか。
- ・その実現のために学校が取り組むべきなのはどのような事か。

### (2) グループ別協議

- ・参加学校運営協議会委員、生徒、教員を7人ずつ3グループに分け協議を実施。

### (3) 共有発表（各グループとも発表は生徒）

#### 【Aグループ】

- ・「文武両道」の「武」である特別活動や部活動について、主に話し合った。徳山高校に入学したからには、学業にも力を入れていかなければならないのは当然だが、学校行事・部活動など、徳山高校で学校生活を送るからこそ得られる力があると思う。そうした学校行事などの活動を通じて得た達成感などが、卒業後の社会活動で役立つのではないかと。

#### 【Bグループ】

- ・徳山高校の「文武両道」は、「文」は勉強、「武」は勉強以外の行事・部活動であり、現状では「文」が強くてきている。その原因を考えたところ、先生方に1年生の頃から、「社会人として成功するためには、いい大学に進学し、勉強が大事」と固定概念を植え付けられたからではないかと考えた。固定概念が植え付けられた状態で、「部活動・行事などの取組は大切だ」と急に言われても、反感を抱く生徒もいるのではないかと。その結果、行事に後ろ向きになってしまったり、勉強に関して焦ったりなどしてしまい、楽しむことが薄れてしまってくる。できれば、先生方には1年生の頃からオリエンテーションなどで、勉強だけでなく、徳山高校の「武」の楽しさも伝えてほしい。

#### 【Cグループ】

- ・生徒3人からは、勉強と部活動の両立は難しいという意見がでた。部活動の先輩・後輩の間で、一緒に勉強したり、テスト前の対策を立てたり「文」としての勉強を高めあうこともできる。そうだとすると部活動は「武」だけではなく、「文武」どちらともに関わる場ではないかという意見もでた。部活動は、生徒にとって人間関係を築いていくところでもあり、相談しやすい距離にあるところだと思う。「文武両道」を達成していくことに部活動は大切な場であることを再確認した。学校という場は、個人の高めあいと全体の高まり、どちらも繋がっているという風に話がまとまった。